



2024
注文住宅
トレンド

平家・ヌック・タイパ
省エネ・ランドリールームなど

注目の7キーワード

ハウスメーカーや工務店、建築家とイチから自分好みの住まいをつくれる「注文住宅」。マンション・建売一戸建てより自由度が高く、住まいにこだわりたい人の「究極の家づくり」といっていいでしょう。また、注文住宅は間取りや設備をイチから設計できるため、時代の価値観や好み、トレンドを色濃く反映します。

建築費や資材費の上昇を受け、小さくても満足度の高い家をめざす

2023年にSUUMOリサーチセンターが発表した調査によると、建築費は全国平均で3186万円、土地代2145万円でもとに直近8年では最高値となっています。このところ増えてきた「平屋」は、住みやすいという側面とともに、建築面積を抑えられることで建築費が節約でき増えてきました。こうした「コンパクトで住みやすい家」というのは、まだまだ増えていく兆しがあるようです。

家づくりにも「タイパ」の波。規格住宅もトレンドに

タイパはタイムパフォーマンスの略語で費やした時間に対する満足度の度合いを示す言葉です。無限に選択肢がある、言い換えれば決断コストが無制限にかかる注文住宅の中で『タイパ』という傾向がじわりと見てとれるといいます。注文住宅は依頼先からはじまって、土地、住宅ローンといった大きなことから、壁紙や取手ひとつまで本当に決断の連続です。そこで選択肢の一つとして『タイパ』にすぐれた規格住宅です。規格住宅とは、ハウスメーカーや工務店があらかじめ用意した間取り、内装、設備のなかから選ぶ建て方のこと。「自由に建てられるのが注文住宅の魅力じゃないのか」という考え方もできますが、自由すぎるとどうしていいかわからない、人もいるでしょう。ある程度、パッケージ化されていて、そこからカスタマイズしていくほうが早いというのは合理的です。

人気を集める間取りや設備は？

費用や面積が限られているなか、住まい情報誌『SUUMO注文住宅』からはこんな傾向もあるようです。

「リビングとは別にくつろぎスペースを設けておく、ヌック（※）や窓際のベンチが増えている気がします。ベンチなので日差しを浴びながらごろんと寝転んでもいいし、子どもと遊んでもいい。机があれば仕事スペースにもなる。リビングでソファに座ってテレビを見る場所とは別に、こうした余白のあるスペースが好まれています」

※ヌックは小ぢんまりとした居心地のいい空間。リビング脇・片隅に設けられるケースが多い



参考資料：（写真/明野設計室 一級建築士事務所）

もう一つ、今らしい家づくりの特徴として「バルコニーをつくらない家」があるといいます。

「共働きのため、日中外に干せない代わりに夜洗濯をして室内で干す人が増えています。室内は全館空調にしていれば窓はあけなくても空気はキレイ。だとすれば室内干しスペースを確保して、逆にバルコニーはいらないという考え方で、建築コストを下げようという発想です。こちらも今後一定の支持を集めるのではないのでしょうか」と分析します。自分たちのライフスタイルに合わせて間取りを最適化していくのであれば、今までの当たり前にとらわれず、バルコニーなし間取りも自然な結論ですよ。これは注文住宅ならではの良さといえるでしょう。

参考資料：SUUMOジャーナル

島根大学・島根県立大学
2024年入試日程

島根
大学

前期日程：2月25日(日)
※医学部は2月26日(月)迄
後期日程：3月12日(火)

合格発表

前期：3月6日(水) 後期：3月22日(金)

島根県立
大学

前期日程：2月25日(日)
後期日程：3月12日(火)
または 3月13日(水)

合格発表

前期：3月5日(火) 後期：3月20日(水・祝)



3月下旬から4月上旬のご入居をご希望される新入生が多くなります。弊社からご相談のご連絡をさせていただくこともあるかと思えます。ご協力をお願いいたします。